JAICOH NEWS LETTER

NO：80　2018 年 11 月発行

歯科保健医療国際協力協議会
Japan Association of International Cooperation for Oral Health
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1　日本大学松戸歯学部　生化学・分子生物学講座内
URL： http://jaicoh.org/　Email：info@jaicoh.org　Tel: 047-360-9328
郵便振込：00140－9－599601　歯科保健医療国際協力協議会
発行：宮田隆　編集：竹内麗理

2019 年 第 30 回 JAICOH 総会・学術集会 のお知らせ（第２報）

主催：歯科保健医療国際協力協議会　共催：東京歯科大学国際医療研究会

大　会　長：眞木吉信　（JAICOH副会長・東京歯科大学衛生学講座教授）
実行委員長：谷口健太郎（JAICOH理事・　東京歯科大学社会歯科学講座）

日　　時：2019年７月６日（土）・７日（日）
会　　場：東京歯科大学本館（水道橋病院）13階

７月６日（土）午後には学生セッション、大会長講演、プレ懇親会、７日（日）には特別講演、一般演題発表、懇親会を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

第 29 回 JAICOH 総会・学術集会の総括

第 29 回実行委員長　ネパール歯科医療協力会　松岡 奈保子

第 29 回歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）総会および学術集会は「本音で語ろう国際協力」のテーマで、平成 30 年６月 30 日（土）・７月１日（日）、福岡ガーデンパレス（福岡市中央区天神 4-8-15）で開催されました。大会長はネパール歯科医療協力会（ADCN）理事長・中村修一でした。

大会内容は、

１．大会長講演「ネパール歯科医療協力会 30 年を振り返って」
　ネパール歯科医療協力会　理事長　中村修一
２．特別講演「ネパール歯科医療協力会とともに歩いた 20 年」
　ウェルビーイングネパール　代表　アミット・カナル
３．RTD（ラウンドテーブルディスカッション）
　１）国際歯科医療プラン：矢野裕子　柏木伸一郎
　２）国際歯科医療協力への学生の参加：樋口惣　重田幸司郎
　３）国際医療協力をしてよかったこと、困ったこと：麻生弘　根木規予子
４．一般発表・ポスター発表

参加者は学生も含めて 80 名を超えました。懇親会参加者も 65 名。大いに盛り上がりました。

RTD（ラウンドテーブルディスカッション）には全員が３テーブルの中の一つに参加し、意見を発表し、参加者同士で語り合うことで国際協力への意欲が引き出されました。

ポスター発表は 18 題を。前日の懇親会場に掲示し、プログラムされていた時間に限らず、大いにディスカッションがなされ、各々の活動について情報交換、交流がなされ、今後の活動について繋がる発表となりました。

左 ウェルビーイングネパール代表 アミット・カナル 氏

【ＪＡＩＣＯＨ２９　プログラム】

☆６月 30 日（土）　福岡ガーデンパレス３階　宝満／ガーデンホール ☆

大会長講演　**『ネパール歯科医療協力会 30 年を振り返って』**
　　ネパール歯科医療協力会　理事長　中村修一

懇親会

☆７月１日（日）　福岡ガーデンパレス１階　ガーデンホール ☆

特別講演　**『ネパール歯科医療協力会とともに歩いた 20 年**
　　20 years I spent with the Association of Dental Co-operation in Nepal』
　　ネパール NPO 法人ウェルビーイング代表　アミット・カナル Amit Khanal

ラウンドテーブルディスカッション（RTD）　**『本音で語ろう！国際協力！』**
　　RT1　Plan DO See ：矢野裕子／柏木伸一郎
　　RT2　学生の参加を考える：樋口惣／重田幸司郎
　　RT3　良かったこと・困ったこと：麻生弘／根木規予子

ポスターセッション

1. **ベトナム児童保護施設でのフッ素洗口普及活動**
　　田畑けいこ（NPO 法人歯科ネットワーク ―岡山から世界へ―），他
2. **ネパールでのフッ化物洗口 25 年間の歩み**
　　矢野裕子（ネパール歯科医療協力会），他
3. **トンガ王国学童の口腔保健向上のための‘MaliMali’ Program の評価**
　　竹内麗理（日本大学松戸歯学部），他
4. **ミャンマーの医療に恵まれない人々へ ―口からの健康作り―**
　　松本敏秀（アジアのこどものデンタルケア），他
5. **ラオスにおける看護師を介した歯科口腔保健サービスの構築と全国展開　第３報**
　　谷野弦（名戸ヶ谷病院），他
6. **モンゴルにおける歯科予防活動と歯科医師研修の取り組み**
　　黒田耕平（日本モンゴル文化経済交流協会），他
7. **ベトナム名誉領事館を設立**
　　夏目長門（愛知学院大学歯学部 口腔先天異常学研究室），他
8. **国内の診療で活かす国際協力経験 ～増加する日本在住外国人患者の傾向と対策の検討～**
　　藤瀬多佳子（きし哲也歯科医院），他
9. **ネパール歯科医療協力会の母子保健活動の 30 年の歩み**
　　白田千代子（ネパール歯科医療協力会），他
10. **ネパール歯科医療協力活動に関わる 30 年間のネパール人の生活実態調査から**
　　安部一紀（ネパール歯科医療協力会）

11. **ネパール歯科医療協力会こどものこころプロジェクト**
守山正樹（ネパール歯科医療協力会）
12. **2015 年ネパール大地震によるラリトプール郡の５か月後の被災状況**
麻生弘（ネパール歯科医療協力会）
13. **ネパールにおけるネパール歯科医療協力会 30 周年記念セミナー**
大野秀夫（ネパール歯科医療協力会），他
14. **ネパール歯科医療協会のプロジェクトを支援する総務部の 30 年間の活動**
大野秀夫（ネパール歯科医療協力会），他
15. **国際歯科保健医療協力における資源の有効活用「ヒト」について ーネパールでの経験からー**
中村修一（ネパール歯科医療協力会），他
16. **開発途上国での調査から考える今後の活動展開**
浅野一磨（東京歯科大学 国際医療研究会），他
17. **学生における国際歯科保健活動の実施と継続の難しさ**
伊東紘世（東京歯科大学 国際医療研究会），他
18. **国際協力に関する活動に興味のある学生の意識調査**
～JAICOH 参加学生と某歯科大学生について～
遠藤眞美（日本大学松戸歯学部），他

ネパール歯科医療協力会 30 年をふり返って

ネパール歯科医療協力会　理事長　中村 修一

ネパールでの保健医療協力は 30 年を迎えた。ミッションの編成や運用に当たってはヒマラヤ登山隊の運用戦略に求めた。目標を定め現地で活動に従事し帰国。持ち帰ったデータや日誌を分析し報告書を発行する。評価や手法は、plan-do-see を導入することにより持続性を維持できた。

その結果、22 のプロジェクトを展開したが、現在進行形の事業は 13 プロジェクト 59.1%。途中で終了したり失敗して中止した案件は９プロジェクト 40.9%であった。活動開始から５年間は、歯科診療を展開。1993 年にテチョー村にヘルスプロモーションセンターを建設、活動の拠点を得て事業は円滑に進んだ。自立型歯科保健開発を目指して養成プロジェクトをヘルスケアの開始と同時にはじめた。その結果現在までにラリトプール郡 40 の小学校から延べ 851 人の先生が口腔保健専門家養成コースを受講した。その結果、現在 7,456 人の小学生がフッ素洗口を実施している。なお、歯科診療は１次隊から始め１万５千名に歯科診療を実施した。

最近は、2015 年のネパール地震で傷ついたこどもの心の癒しプロジェクト、母子保健班による保育所のプロジェクト、ゴダワリ市とのコラボ、高齢者歯科保健プロジェクトをネパール人口腔保健専門家により展開する事業を開発中である。

ネパール歯科医療協会とともに歩いた２０年
20 years I spent with the Association of Dental Co-peration in Nepal

NPO 法人 Well-being Nepal 代表　Amit Khanal

ネパール歯科医療協会（以下、ADCN と省略）は 30 年前、ネパールのラリトプール郡のテチョー村とその周辺のいくつかの村で歯科診療をはじめた。現在は学校歯科保健、口腔保健専門家養成（Oral Health Training）およびフッ素洗口など、活動は Health Care に変化した。ネパール人を代表して私アミット・カナルは、ADCN のみなさまに本当に感謝している。

そして、30 年の長い間、日本人とネパール人の心温まるつながりがあった。ネパールのラリトプール郡の村人は、自分の健康のために正しい口腔ケアの知識を学び、口腔ケアができるようになった。

私は ADCN を知り、一緒に活動して今年で 20 年になる。ADCN が育てた COHW（口腔保健専門家の中心の方々）メンバーは村人の Health Care のために活動している。また、同じように ADCN が教育したマザーボランティアグループ（母子の健康のために活動している日本の婦人会みたいな団体）もラリトプール郡の母子の健康のために活動している。

Well-being Nepal はこれからもこのような活動が続くように COHW メンバーやマザーボランティアグループをサポートしていく予定である。現在、ネパールのいろいろな道はあれている。今後もきれいになるか分からない。しかし、私アミット・カナルは口腔状態があまりよくない他のネパールの人々にも 30 年間活動した ADCN の医療モデルを広めたいと思っている。

今回、私が ADCN とともに歩いた 20 年について講演した。

ラウンドテーブルディスカッション（RTD）
『本音で語ろう！国際協力！』

RTD1 “Plan Do See”

目標は自立だけれどプランを作る時に現地のニーズも必要。けれどあまり計画を立てすぎて始まらないのはまずいのでとにかくやって見る。そこで評価をしていく。データもとる。考えすぎて動かないよりは始めて動くことも多いのではという感じがあった。

RTD2 “学生の参加を考える”

学生の参加の壁となることは経済面の援助、学業との両立、継続が難しい。単発で終わるのが多いのでどうしたら継続できるのか？

大学ごとに国際協力をサポートするクラブがある。情報を集めるところから始まってHPから今日にたどり着いた。人材確保が難しい。実際国際協力に参加して歯科のやれることは少ないが価値観が変わる。日本だけの基準で物を見ていた時より価値観が豊かになる。現地の役に立つだけでなく、自分の役に立つネットワークを作って共有する場があると助かる。

RTD3“困ったこと、よかったこと”

このRTDは長く地域で活動されていた先生方が多かった。診療活動の継続は現地の人々の自立とか健康観を変えていくまでにはならないのではないか？それでも現地のニーズに耳を傾け受け入れることは大事でその不本意が困ったことかもしれない。長く活動すると信頼関係も強固になりそれは活動をする上で大事。長く活動をしてくると円滑に活動できるようになって来た。ゴールがあるので撤退の時期を考えることは大事だけれど現地の人々との交流は残るのでは？

「恵まれた環境のありがたさ」

九州大学歯学部３年次　高本 侑立子

「歯磨きの仕方から指導することからスタートさせ、それが重要だ」この言葉に私は衝撃を受け、それと同時に歯科医療とは何かという問題提起が頭の中に浮かびました。

私は高校生の時、児童労働に関するNGO団体に参加するなど、ボランティア活動に関して興味があったため、今回初めて JAICOH へ参加させて頂きました。参加する前、発展途上国での歯科医院の設立や不足している機材の支給、そのような活動こそを私は「ボランティア活動」だと考えていました。確かにそれも大事なことであるが、それ以前に基本的な歯磨きの仕方から指導をスタートすることが最優先。生まれて歯が生えてからあたりまえである歯磨き習慣が、あたりまえではない環境。歯科医療に対しての自分の考えが根底から覆されたと同時に、今までの自分が恥ずかしいとさえ感じるようになりました。

人間というのは「ないものねだり」で今ある現状に満足せず、更に上を求める。めざましい発展を遂げる歯科医療であるが、日本ではよりよい生活を送る為に施されるものというイメージがある。しかし、本来の歯科医療とはそうではないのではないか。発展も重要なことではあるが、医療とは必要な人々に届けられなければ医療は成立しない。しかし地球の裏側には必要な医療を受けることができない人がたくさんいて、それは大それた治療でなくとも、基本的なことからでも必要とされていることに私は気が付きました。このような貴重な機会を与えてくださり感謝申し上げるとともに、これを機に必要とされる医療をしていきたいなと思いました。ありがとうございました。

事務局より

役員紹介

下記の通り、JAICOH 役員が決定しました。

役　職	名　前	所　属
会　長	宮田　　隆	宮田歯科医院　歯科医学教育国際支援機構
副会長	有川　量崇	日本大学松戸歯学部衛生学講座
副会長	夏目　長門	愛知学院大学歯学部　日本医学歯学情報機構
		口唇口蓋裂センター長　日本口唇口蓋裂協会
副会長	眞木　吉信	東京歯科大学衛生学講座
理　事	相田　　潤	東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野
理　事	遠藤　眞美	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座　南太平洋医療隊
理　事	門井　謙典	兵庫医科大学歯科口腔外科学講座
理　事	黒田　耕平	神戸医療生活協同組合生協なでしこ歯科
		日本モンゴル文化経済交流協会
理　事	齋藤　孝平	ほたるだ歯科医院
理　事	竹内　麗理	日本大学松戸歯学部生化学・分子生物学講座　南太平洋医療隊
理　事	谷口健太郎	東京歯科大学社会歯科学講座
理　事	根木規予子	ネパール歯科医療協力会
理　事	白田千代子	ネパール歯科医療協力会　NPO カムカムクメール
理　事	村田　千年	マリーナ歯科クリニック　ルカジャパン
理　事	谷野　　弦	名戸ヶ谷病院歯科診療室　歯科医学教育国際支援機構
顧　問	金澤　紀子	（公社）日本歯科衛生士会元会長
顧　問	田中　健一	北京天衛診所歯科
顧　問	鶴巻　克雄	国際歯科連盟（FDI）元会長
顧　問	深井　穫博	深井歯科医院　深井保健科学研究所　ネパール歯科医療協力会
顧　問	村居　正雄	アジア歯科保健推進基金
監　事	河村　康二	カワムラ歯科医院　南太平洋医療隊
監　事	原田　祥二	原田歯科　北海道ブータン協会

JAICOH 新会長に就任して

JAICOH 会長　歯科医学教育国際支援機構　宮田 隆

この度、福岡で開催された 2018 年の JAICOH 学術大会の総会において、第５代会長に推挙されました宮田と申します。JAICOH との付き合いは長く、本会が設立されてすぐに入会し、カンボジアのスタディ・ツアーなどに参加しました。私の国際医療貢献の道に進むきっかけを作ってくれたのが JAICOH でした。2000 年までの村居正雄会長時代は JAICOH 自身がプロジェクトを形成し、積極的に海外で活動してきましたが、深井穫博先生が会長になってからは JAICOH の方針を転換し、数ある歯科系 NGO を取りまとめる情報発信が活動の中心となりました。この深井先生の方針は、JAICOH のあるべき姿を具象した形になり、その後の会長にも引き継がれ現在に至っています。それを踏まえ、私の会長任期２年の間に、次の事を会の運営の基本として捉え、実践して参りたいと考えています。

１．本会は会員数も少なく、また予算もごく小規模です。そんな身の丈に合った活動を心がける事。
２．いわゆる歯科系 NGO の相互交流と情報交換の場として、ホームページを含め、本会の本来の目的に適った活動を行う事。
３．歯科系 NGO の活動を経済的に補助するシーズプロジェクトを再開する事。これによって歯科系 NGO がよりアクティビティーの高い NGO となるよう支援する事。
４．学生や若手の会員向けの研修会を充実する事。特に年２回（１回目は９月に終了）の学生向けの研修会を一般会員にも門戸を広げ、より充実した実践的な内容とする事。

私はいつも JAICOH の事を貧乏だけど志だけは高い、と言っています。また、自虐的に「今度、年間予算 20 万円の会長になりました」と話すと皆、一様に驚きます。ここで言う「志の高い」と言うのは自分のためではなく世のため人のために尽くす、という意味です。最近、私たちの生き方を考えさせられる二人の 78 歳がマスコミに登場し、話題になりましたね。ボクシングの山根明氏とスーパー・ボランティアの尾畠春夫氏です。片や「世界の山根や!」と嘯き、片や寡黙に黙々とボランティア活動に邁進している。この二つの人生のどちらを JAICOH は選びますか？という命題です。国際ボランティアというのは山根型に陥りやすい危険性があります。その国に行けば自分は有名人だとか、その国の偉い人と交流がある、などと吹聴するなど、様々な「権威」に体躯を預ける生き方です。ただ、私が会長の間は徹底的に尾畠氏型で行こうかと思います。黙々と真摯に、権威に阿（おもね）ない、そして、ひたすらその地域の人たちの健康を願い、寄り添ってゆく JAICOH でありたいと思います。ご協力のほどをお願い致します。

2017 年度事業報告（2017 年７月１日～2018 年６月 30 日）

2017 年

７月 1・2 日　第 28 回総会・学術集会開催

［宮田隆（歯科医学教育国際支援機構）、於 日本大学歯学部］

10 月　ニュースレター（第 78 号）発行

2018 年

５月 26 日　研修会開催

［ネパール歯科医療協力会の活動～ネパールでの歯科保健活動の経験～；

白田千代子（ネパール歯科医療協力会）、於 東京歯科大学水道橋病院］

６月　ニュースレター（第 79 号）発行

平成 29（2017）年度決算書（自平成 29 年７月１日～至平成 30 年６月 30 日）

歳入の部

款	項	平成 29 年度 歳入予算	平成 29 年度 歳入実績	備考
会費	普通会員	¥150,000	¥215,000	普通会員 43 件（2015 年度 3 件、2016 年度 10 件、2017 年度 27 件、2018 年度 3 件）
	維持会員	¥100,000	¥120,000	維持会員 12 件（2015 年度 1 件、2016 年度 2 件、2017 年度 9 件）
	その他	¥0	¥0	
	小計	**¥250,000**	**¥335,000**	
寄付金	事務局関係	¥20,000	¥5,000	JAICOH28 にて
	シーズプロジェクト	¥100	¥0	
	その他	¥0	¥0	
	小計	**¥20,100**	**¥5,000**	
雑収入	ニュースレター広告料	¥100	¥0	
	研修会参加費	¥50,000	¥4,000	開催 1 回（2018.05.26）
	銀行利子	¥100	¥0	
	その他	¥100	¥49,523	JAICOH28 より返金
	助成金	¥0	¥0	
	小計	**¥50,300**	**¥53,523**	
小計		**¥320,400**	**¥393,523**	

前年度繰越金	**¥1,179,529**	**¥1,179,529**
歳入の合計	**¥1,499,929**	**¥1,573,052**

歳出の部

款	項	平成 29 年度 歳出予算	平成 29 年度 歳出実績	備考
会議費	役員会	¥15,000	¥5,108	開催 1 回（2017.07.02）
	総会・学術集会	¥100,000	¥100,000	JAICOH29 補助
	会場借上料	¥5,000	¥7,000	JAICOH29 役員会（2018.06.30）
	小計	**¥120,000**	**¥112,108**	
事務費	通信費	¥5,000	¥0	
	印刷費	¥50,000	¥0	
	消耗品費	¥2,000	¥0	
	小計	**¥57,000**	**¥0**	
事業費	研修会	¥120,000	¥42,680	講師料 20,000 円×1 名（2018.05.26）、会場費 22,680 円（2017.06.04）
	広報事業	¥10,000	¥6,994	ホームページ維持費用
	シーズプロジェクト	¥100	¥0	
	小計	**¥130,100**	**¥49,674**	
渉外費		¥100	¥0	
備品費		¥100	¥0	
積立金		¥100	¥0	
予備費		¥5,000	¥1,810	ゆうちょ銀行 払込料金
小計		**¥312,400**	**¥163,592**	
次年度繰越金		**¥1,187,529**	**¥1,409,460**	
歳出の合計		**¥1,499,929**	**¥1,573,052**	

監査報告書

歯科保健医療国際協力協議会
会長　河村康二　殿

監査の結果を下記のとおり報告いたします。

記

平成２９（２０１７）年度（平成２９年７月１日から平成３０年６月３０日まで）の事業報告書、決算書および附属証拠書類を精査した結果、適正かつ正確に処理、記載されていることを認める。

以上

平成３０年６月 30 日

歯科保健医療国際協力協議会
監事　白田千代子
監事　原田祥二

会費納入をお願いします！

ニュースレター・NGOダイレクトリーによる国際歯科保健医療協力に関わる情報提供など、本会の事業は皆様から納入いただく会費によって運営されています。つきましては、会費納入にご協力賜りたくお願い申し上げます。

年会費は、正会員：5,000円／年、賛助会員：一口10,000円／年、学生会員：無料（登録制）です。JAICOHの年度は４月１日から３月31日です。

会費納入先（郵便振替）　口座；００１４０－９－５９９６０１
名称；歯科保健医療国際協力協議会

他金融機関からの振込用口座番号
〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）当座；０５９９６０１

メーリングリスト（JAICOH－ML）に登録・投稿してください！！

JAICOH では、歯科保健分野における国際協力や地域保健に関するメーリングリスト(JAICOH-ML)を運用しています。JAICOH 会員の方はもちろん、JAICOH 会員ではなくても、登録することができます。情報交換や、各種研修会等のお知らせにも使用しておりますので、各団体の活動報告や参加メンバー募集、学生向けのスタディーツアーへの募集のお知らせなどに、ぜひご利用ください。

なお、この ML には、JAICOH 会員に限らず、歯科保健分野における国際協力、国際保健、地域保健に関心のある方は誰でも無料で登録が可能です。歯科医師や歯科衛生士だけではなく、他の医療職、医療と直接関係ない方や学生も OK です。

ML 登録をご希望の方や問い合わせは、１．氏名、２．所属、３．メールアドレスを、JAICOH 事務局 ML 担当・門井謙典（jaicoh-admin@umin.ac.jp）まで送信ください。数日で手続きいたします。よろしくお願いいたします。

６月30日（土）・７月１日（日）に、第29回JAICOH総会・学術集会が福岡の福岡ガーデンパレスで開催されました。大会長はネパール歯科医療協力会理事長・中村修一先生、特別企画として大会長講演「ネパール歯科医療協力会30年を振り返って」、特別講演「20 years I spent with the Association of Dental Co-operation in Nepal」、ラウンドテーブルディスカッション「本音で語ろう！国際協力！」があり、そして多くの一般（ポスター）発表もあり、日本全土から国際協力で活躍する方々が集まり、盛大に行われました。お集まりいただいた皆様、ご支援くださった方々、ありがとうございました。

また、総会において、第５代JAICOH会長に歯科医学教育国際支援機構理事長・宮田隆先生が決まり、後日役員が決定いたしました。今号には「JAICOH新会長に就任して」および「役員名簿」も掲載されていますので、是非ともご一読ください。

運営方針へのご意見がありましたらお寄せください。よろしくお願いいたします（竹内）。